

杉戸町新型インフルエンザ等対策行動計画（改定素案）に係る パブリックコメントに対する結果について

1 意見募集の概要

- ① 意見募集期間：令和7年11月14日（金）から令和7年12月15日（月）まで
- ② 意見募集の周知：広報すぎと、町ホームページ
- ③ 閲覧場所：町ホームページ、杉戸町健康支援課窓口、行政情報コーナー（役場本庁舎1階）、すぎとピア、各公民館、生涯学習センター、エコ・スポいずみ、深輪産業団地地区センター、高野農村センター、杉戸町コミュニティセンター
- ④ 意見の提出方法：窓口を持参、郵送、FAX、電子メール、電子申請

2 意見募集の結果

- ① 提出者数：1人（提出方法：電子申請 1通）
- ② 意見等総数：4件
- ③ 反映件数：0件

No.	項	意見の概要	意見に対する町の考え方（案）
1	—	新型コロナウイルスに対する過度な対策により教育現場や職場などでマスク着用が実質的に強要されたり、行事等が削減される、また飲食店の経営不全により自殺者が出るなどの負の側面が出た。その前提を踏まえたうえで、いくつか意見を記載する。 1. 行われた新型コロナウイルス対策の効果や悪影響に対して検証はされているのか。国、県レベルでもこのような検証がされたという話は聞かないが、町として独自に検証を行っているか疑問に感じる。まず検証を行ったうえで立案された計画でないと、計画として無意味なものになると考える。	今般、新型コロナへの対応で明らかとなった課題や、これまでの関連する法改正等も踏まえ、新型インフルエンザや新型コロナ等以外も含めた幅広い感染症による危機に対応できる社会を目指すものとして、令和6年7月に新型インフルエンザ等対策政府行動計画が、令和7年1月に埼玉県新型インフルエンザ等対策行動計画が改定されました。これに伴い、本町においても、本計画に基づき、感染症危機に対する平時の備えに万全を期すとともに、有事には、迅速かつ着実に必要な対策を実施してまいります。
2	—	2. 新型コロナウイルス対策の際に、マスクの着用など過度な感染症対策の強要が多々見られた。感染症対策については個々の判断によれば十分であり、過度な強要は差別の温床となるなど百害あって一利なしと考える。行動計画には感染症対策を強要する意図はあるのか。	本計画では、新型インフルエンザ等の発生時の対策強化に向けた理解や準備の促進等として、マスク着用等の感染対策の普及を図るものとしており、感染対策を強要するものではありません。
3	—	3. 感染症対策において有識者の意見を求める際に、新型コロナウイルス対策においては医療関係者の意見ばかりが優遇され、その体験がおざなりにされた面が見受けられた。意見を求める際には医療関係者だけでなく、経済学や心理学などからの面からの意見も聞くようにされ	本計画は、町民生活に様々な影響を与える感染症への対策を図ることを目的として策定するものであり、保健・衛生に関する専門的な視点から意見を聞いて作成・変更するものとしています。なお、ご指摘の経済学や心理学の面からの意見

		たい。	聴取については、ご意見として参考とさせていただきます。
4	—	4. 新型コロナウイルスワクチン接種の際は、一部の職場などでワクチン接種を強要するような場面が見受けられたと聞いている。このようなワクチン接種の強要は行わないように留意されたい。	本計画では、町は、厚生労働省及び県の協力を得ながら希望する町民全員が速やかにワクチン接種することができるよう、体制を構築するものとしており、ワクチン接種を強要することを目的としたものではありません。